

知らない世界に興味津々



みの〜れ芸術展の実行委員になるまでみの〜れに行つたこともなかったが、「委員を務めることでいろいろな知識がついて楽しい」と語る柴田ひろ子さん

みの〜れ芸術展実行委員会

柴田 ひろ子 さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
 のすすめ

No.02

小美玉市にゆかりのある芸術家を取り上げ、企画展と体験教室を開催している『みの〜れ芸術展』。その企画運営を実施しているのが地域住民三〇名で組織する「みの〜れ芸術展実行委員会」。第一回から実行委員として奔走する柴田ひろ子さん。

汗を流して 交流の場に

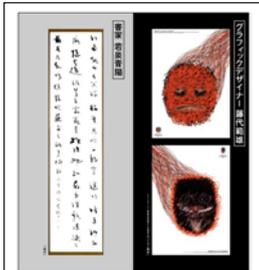
「話し合いだけじゃなく、先生のアトリエから作品を出すときに掃除をしたりして実行委員みんなで汗を流すことがいい交流の場になっています」。

特に美術に興味があったわけではないが、「頼まれたら断らない」と柴田さん。知らない世界に興味があり、「引き受けたものは後悔しない性格。始めたからには楽しまなきゃ損だと思いません」と語る。芸術家と話し合いながら企画を作っていく過程で、フツウの人には思いもつかない発想や何事も楽しもうとする芸術家の人柄に触れ、「先生の人間性が分かり、作品が身近に感じられるようになった」。

体験教室の準備や介添えに一週間サポートに通ったこともあるが、「なるべくなら先生の思うようにしりょう。てあげたいから」という。実行委員会は「白紙から作っていく楽しさがある」と話し合いが活発で意見がまとまらないこともあります。まとめ役の委員長は大変だと思えます。芸術家ごとに班に分かれて話し合いを持ち、全体会で調整している。班構成は毎年希望を取り、役員もあえて毎年変えているが、「役員決めはスムーズで不満ありません」。

「美術をかじったことのない人こそ委員をやって欲しいと思います。先生の想いを聞くことで作品に対して興味が高まります。私がそうだったから」。

九月にはもう一つの実行委員を務める「地球のステージ」の公演を控えている。精神科医による映像と音楽の語りのライブが好評だ。柴田さんは、「芸術展同様たくさんの人に観てほしい」と語っていた。



第4回 みの〜れ芸術展

【第4回みの〜れ芸術展】

入場無料
 8月18日⑨～26日⑨
 9:00～17:00

■作家 ■
 若泉青陽
 (書家)
 藤代範雄
 (グラフィックデザイナー)